

の対応について

点

でんてき

点滴について

腕の細い血管から点滴をする末梢静脈栄養と心臓の近くまでカテーテルを通して点滴をする中心静脈栄養があり、中心静脈栄養では1000kcal以上の高カロリー点滴が可能です。中心静脈栄養に使用するカテーテルは、局所麻酔での手術で日帰り～1泊2日で造設可能です。ただし血管内にカテーテルが長期間入ることで感染症を起こすリスクがあります。神経難病患者では飲み込むことは難しくても、腸管は問題なく動いているため、点滴ではなく胃ろうや経鼻胃管が推奨されています。



■点滴を受ける様子

なんでもお答え!

Q&A ドクター

Q 胃ろうや経鼻胃管を始めると
飲食ができなくなりますか?

これらは食事で不足した栄養を補う目的ですので、飲食可能です。ただし嚥下障害の状態によって、食事の制限や食形態の工夫が必要な場合があるので、担当の先生に相談してください。



Q 胃ろうを作った場合、
自宅での生活は大変ですか?

胃ろうを作っても、日常生活に制限はありません。栄養剤の注入にかかる時間は、液状栄養剤で約1時間、半固形栄養剤で約10分です。栄養剤の注入は、本人や家族、医師、看護師の他、資格を持った一部の介護職員が可能です。

